

# 栄村総合戦略推進委員会次第

日時:平成 30 年 11 月 21 日(水)

午前 10 時 00 分から

場所:栄村役場議場兼大会議室

## 1 開 会

## 2 村長あいさつ

## 3 協議事項(進行:会長)

1)平成 29 年度地方創生推進交付金事業の評価について (資料1、2)

- ・信越自然郷における DMO 構築推進事業
- ・苗場山麓ジオパーク推進事業

2)栄村総合戦略の取組み状況について (資料3)

3)平成 30 年度地方創生推進交付金事業の実施状況について (資料4)

- ・信越自然郷における DMO 構築推進事業
- ・苗場山麓ジオパーク推進事業

## 4 その他

## 5 閉 会

## 栄村総合戦略推進委員会名簿

任期：平成28年12月20日～平成33年3月31日

番号		氏名	備 考
1	会 長	宮沢 秀明	総合戦略会議委員（総合振興計画審議会委員）
2	副会長	相川 陽一	教育機関（長野大学環境ツーリズム学部准教授）
4	委 員	若林 正展	行政機関（北信地域振興局企画振興課長）
5	委 員	桜沢 美代子	総合戦略会議委員（総合振興計画審議会委員）
3	委 員	関澤 秀昭	総合戦略会議委員（産業界）
6	委 員	斉藤 大輔	総合戦略会議委員（若者・子育て世代）
7	委 員	山田 敦子	総合戦略会議委員（移住者）

欠席

平成29年度地方創生推進交付金事業総括表

担当課：商工観光課

事業名	信越自然郷におけるDMO構築推進事業			
事業主体	栄村			
連携自治体 (○代表自治体)	○飯山市、中野市、妙高市、山ノ内町、野沢温泉村、栄村、信濃町、飯綱町、木島平村			
	188,000円	(内交付金)	94,000円	
事業概要	①マーケティング調査実施 ②広域観光旅行商品造成 ③パンフレット・マップ等PRツール作成(多言語版含む) ④サイクリング環境整備(サイクルステーション設置) ⑤多言語通訳クラウドサービス導入			
重要業績 評価(KPI)	観光消費額 延宿泊数 飯山駅観光案内所(ワンストップ)窓 口利用者数	目標値	449億円 575万人 66,773人	実績値 433億円 554万人 51,762人

事業内容(平成29年度に実施した内容) (1)日本版DMOの強化と事業推進 信越自然郷の観光地づくりの取り組みをマネジメントする日本版DMO組織を強化し、広域旅行商品の造成やエリア情報の一元的発信等として、日本版DMOの運営、マーケティング調査を行いました。 (2)広域旅行商品の開発と販売 「保養・獲得型」で楽しめる観光商品(広域旅行商品)の充実を図り、本エリアならではの価値である「アウトドア・食文化・リラクゼーション」を提供できる商品をJR等と連携し、企画・造成し、提供できる環境づくりとして、新商品開発、共通リフト券の発行、おさんぽバスの運行を行いました。 (3)「信越自然郷」のブランディングとプロモーション 信越自然郷エリアは、一つの文化圏として価値ある観光地域と認知され、国内外から支持されるために「千年風土の豊穡の地」「山岳高原観光地」のブランド確立を図り、他地域と差別化できる高い価値の発信として、情報ツールの企画及び製作、重点市場への情報発信、ブランド構築を行いました。 (4)信越自然郷におけるNAGANOモビリティのための環境づくり 365日いつでも信越自然郷エリアでNAGANOモビリティ「食文化×リラクゼーション×アウトドア」が楽しめる環境づくりを長野県・市町村・企業(アウトドアメーカーとの連携)とともに、広域サイクリング環境の整備、NAGANOモビリティの推進に取り組みました。	
事業効果 栄村としては、JR東日本長野支社で秋山郷のツアー企画を行っていただき、特に関東方面に栄村秋山郷を知って頂く機会を得たこと。広告媒体でも、信越自然郷のエリアと一緒に掲載することで周遊ができ、特徴ある地域である認識を観光客に認識して頂けたこと。共通リフト券の利用にあっては、昨年度と同様(14名)であった。 以上のことから財政規模の小さな村としては、少額の負担で宣伝効果に大きな成果があったと思われる。	
今後の取組み(平成30年度以降の取組み) 平成29年度の事業内容の他、交通等観光インフラの整備充実として、観光2次交通の充実やサイクルステーションの充実等を図る事業を展開しています。	

栄村総合戦略推進委員評価欄

事業評価	A 大変効果があつた	B 効果があつた	C あまり効果が無かつた	D 効果は無かつた
【委員意見】				

平成29年度地方創生推進交付金事業総括表

担当課：教育委員会事務局

事業名	苗場山麓ジオパーク推進事業		
事業主体	栄村		
連携自治体 (○代表自治体)	○津南町、栄村		
総事業費	4,600,038円	(内交付金)	2,210,000円
事業概要	苗場山麓ジオパーク拠点整備 観光案内拠点の強化 展望台、解説看板等の設置。 苗場山麓ジオパーク推進事業 ポスター・パンフレットの作成、商品開発、地域資源調査、ジオガイド養成、専門誌の発行。		
重要業績 評価(KPI)	平成29年観光入込客数 宿泊観光客数	目標値	実績値
		56万人 9.55万人	60.7万人 10.1万人

事業内容（平成29年度に実施した内容）

(1)ソフト事業

①PR事業

ポスター製作(ほくほく線車内掲示)、のぼり旗製作、ハンドブック増刷、ホームページ維持管理  
オリジナルカレンダー製作・配布、ガイド養成講座、苗場山麓植物民俗事典発行

②調査事業(栄村分)

月夜立、雑魚川、硫黄川

(2)ハード事業(栄村分)

①月夜立ビューポイント整備

②解説看板設置…中野の露頭、天代の露頭、甘酒村跡、ユモトマユミ

事業効果

- ・訪問者に配慮した解説看板を新たに4カ所設置することができた。(村内累計11カ所)
- ・月夜立岩を眺望できるポイントに駐車スペースを確保し、雑木を除去することで訪問者が安心して素晴らしい眺めを見ることができる。
- ・ジオ関連ツアーの開催  
回数：68回、人数：1402人

今後の取組み（平成30年度以降の取組み）

- ・苗場山麓ジオパークの4年間の活動について、平成30年10月31日～11月2日に審査員による再審査が実施される。今までの活動を振り返るとともに今後も津南町と連携し苗場山麓ジオパークを活かす取組を進める。  
解説看板の設置、ジオサイトマップの改訂、ジオサイト区分の見直し、ジオサイトの保全等

栄村総合戦略推進委員評価欄

事業評価	A 大変効果 があった	B 効果が あった	C あまり効果 がなかった	D 効果は無 かった
------	----------------	--------------	------------------	---------------

【委員意見】

基本目標1 やりたいたい仕事ができる村づくり

数値目標	実績数値					状況	
	基準値	目標値	H27	H28	H29		H30
創業・誘致企業件数	-	3件	-	1	3		天然水の製造工場がH29年に稼働。起業支援事業補助金により29年度起業3件。

施策(1) 農林畜産業の振興対策

具体的施策	重要業績評価値(KPI)		実績数値					達成状況(H29年度)	今後の取組み等	備考 (担当課)
	基準値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31			
農村から全国へ、海外へ発信できる農業者の育成、確保を目標とします	5人	12人	5	5	7			未達成	集落営農を進め荒廃農地発生を防止する。若者就業や認定農業者の支援と、栄村に適した農作物の生産振興を行う。	(産業建設課)
豊かで美しい森林資源を保護する環境重視型林業の振興に力を入れます	31人	35人	30	28	27			未達成	造林事業等引き続き進める。子ツブ事業も軌道に乗ってきている。森林組合と協議しながら支援を進める。	(産業建設課)
栄村牛ブランドの確立を目指します	234頭	300頭	275	330	340			達成	美雪和牛ブランド継続と村内畜産振興のため、家畜預託利子補給などの支援事業を継続する。	(産業建設課)
豊かな水資源を活用し、水産業の振興に取り組めます	-	1件	1	-	-			達成	天然水の製造工場がH29年に稼働。	(商工観光課)

施策(2) 商工業の振興対策

若い世代が働きたい環境を整備します	累計相談件数	10件	-	4	2	H29年度は相談4件のうち3件が起業。	未達成	H30年度は相談2件。事業の有効性は認められるので引き続き実施。	(商工観光課)
村民が村内で消費するメリットを向上させて商工業を支えます	-	3件	1	1	1		未達成	H30年度は補助金事業として実施中。効果を検証して実施見込み。	(商工観光課)

施策(3) 地域資源を活用した新たな雇用の創出対策

新エネルギーに関する研究を本格的に着手します	事業着手数	-	2事業	-	-	小水力発電可能性調査を村内3箇所実施。小赤沢川での小水力発電検討中。	実績なし	H29年度に調査を行い一番可能性が高い森用水でH30～31年度まで水量調査を行い判断する。	(特命対策課)
地域の自然・歴史・文化を取り入れた産業を掘り起こします	後継者育成対策件数	-	2件	-	-	歴史文化館で猫つぐら教室などを開講。産業化への取組みはこれから。	実績なし	民泊等で体験型として取り入れるなどの起業支援で実施の方向。	(商工観光課)

基本目標2「若衆(わけしよ)や「女衆(おんなしよ)」が集まる村づくり

数値目標	実績数値					状況
	基準値	目標値	H27	H28	H29	
社会動態数	△7人	10人	△8	9	△29	H29年度: 転入41人、転出70人

施策(1) 移住・定住促進対策

具体的施策	重要業績評価値(KPI)		実績数値					達成状況(H29年度)	今後の取組み等	備考(担当課)
	基準値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31			
新しい息吹を呼び込みます	1件	10件	6	1	2	1	未達成	まだ空き家は多数あるので空き家バンク等で紹介しさらに活用を進める。	(特命対策課)	
地域おこし協力隊等を積極的に活用します	3人	6人	3	3	4	5	未達成	H30年度社会福祉協議会へ1名着任し、現在2名で活動している。 西部地区とジオパーク関係で、2名の隊員を募集している。地域の要望を聞きながら導入したい。	(総務課)	

施策(2) 交流人口促進対策

地域資源を十分活用して観光施策に反映させます	年間観光者数	10万人	11万人	11.6	11	8.9	未達成 <th rowspan="2">観光二次交通対策による観光誘客及び広域観光圏と連携した誘客活動(インバウンド含む。)を推進。 H30年度 木島平～カヤノ平～小赤沢を結ぶシャトル便の運行。(7月～9月) 木島平～カヤノ平～屋敷経由～飯山駅を結ぶシャトル便の運行。(10月～11月) 栄村秋山郷とJR越後湯沢駅を結ぶ無料送迎バスの運行。(10月6日～11月11日まで毎日運行) 飯山線沿線活性化協議会による特別列車運行イベント。(おいこつと、じよんのび風つご号) 雪国観光圏におけるスノーカントリーレールの全線開通。(9月8日) 信越トレイル延伸に向け協議及びルートの検討開始。 大地の芸術祭において、チケット販売、広告宣伝等の実施。</th> <th rowspan="2">(商工観光課)</th>	観光二次交通対策による観光誘客及び広域観光圏と連携した誘客活動(インバウンド含む。)を推進。 H30年度 木島平～カヤノ平～小赤沢を結ぶシャトル便の運行。(7月～9月) 木島平～カヤノ平～屋敷経由～飯山駅を結ぶシャトル便の運行。(10月～11月) 栄村秋山郷とJR越後湯沢駅を結ぶ無料送迎バスの運行。(10月6日～11月11日まで毎日運行) 飯山線沿線活性化協議会による特別列車運行イベント。(おいこつと、じよんのび風つご号) 雪国観光圏におけるスノーカントリーレールの全線開通。(9月8日) 信越トレイル延伸に向け協議及びルートの検討開始。 大地の芸術祭において、チケット販売、広告宣伝等の実施。	(商工観光課)
「連携」をキーワードとした観光施策を進めて、「交流」に結び付けていきます	5件	—	—	—	1	2	未達成	H29年度 木島平村～カヤノ平～切明を結ぶ高原シャトル便の運行。 森宮野原～津南～切明を結ぶ高原シャトル便の運行。	(商工観光課)

基本目標3 安心して出産し子育てできる村づくり

数値目標	実績数値					状況
	基準値	目標値	H27	H28	H29	
自然動態数	△53人	△30人	△43	△50	△50	H29年度：出生8人、死亡58人

施策(1) 結婚対策

具体的施策	重要業績評価(KPI)		実績数値					達成状況(H29年度)	今後の取組み等	備考(担当課)
	基準値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31			
結婚したい人の希望を応援します	3回	5回	4	3	2	2	未達成	開催する回数だけでなく、充実した内容で開催できるよう検討していく。	(住民福祉課)	

施策(2) 出産・子育て対策

安心して出産できる医療体制の確保に努めます	1.44	1.6	1.39	1.4	0.98	未達成	乳児検診、母親学級、妊婦検診、不妊治療費助成事業を実施。	今後も事業を継続し安心して出産できる体制づくりに努める。	(健康支援課)
栄村こそ「子育てに相応しいと言われる村」を目指します	61%	75%	-	-	-	実績なし	森宮野原駅前複合施設内に子育て支援ルームを開設。		(健康支援課)

施策(3) 教育対策

子どもたちが村に誇りを持てる教育を目指します	-	1	-	-	1	1	達成	H29年4月に開校。	地域に育ち、地域に学び、地域を活かす子どもたちの育成のため、栄村でできることを学校と地域で連携していく。	(教育委員会事務局)
子どもたち一人一人の良さを伸ばす教育活動を展開します	48	65	48	48	48	48	未達成	「栄小中学校家庭生活スタイル」作成、公費による副教材購入。	「栄小中学校家庭生活スタイル」作成、副教材購入により、より良い環境づくりをし学力向上を目指す。	(教育委員会事務局)

基本目標4 いきいきと暮らせる村づくり

数値目標	実績数値				状況			
	基準値	目標値	H27	H28		H29	H30	H31
え一村だと思ふ村民の割合	53.4%	70.0%	-	-	-	-	-	
栄村への定住意欲度	41.8%	60.0%	-	-	-	-	-	

施策(1) 保健・医療・福祉対策

具体的施策	重要業績評価(KPI)		実績数値				実施状況等	達成状況(H29年度)	今後の取り組み等	備考(担当課)	
	基準値	目標値	H27	H28	H29	H30					H31
健康づくり施策を充実させて健康長寿の村を目指します	49.0%	60.0%	53.6	43.7	49.7			特定検診、がん検診、人間ドック助成や各種健康教育を実施。	未達成	未受診者の個別訪問や広報などで受診勧奨に努めていく。	(健康支援課)
村民が安心して暮らせる医療体制等の整備に努めます	197百万円	156百万円	186	156	152			村内診療所による医療体制の確保、地域包括的支援サービスを提供。	達成	医療・介護の連携など在宅医療について研究していく。	(健康支援課)

施策(2) 生活環境対策

雪に強い村づくりを目指します	3件	5件	3	3	3	4		雪害対策救助員、道ふみ支援、克雪対策基金など継続。	未達成	H30年度克雪住宅普及促進事業補助金を新設。北信地域振興局と克雪住宅普及促進事業や住宅除雪支援事業の拡充について、協議している。	(住民福祉課) (総務課) (産業建設課)
村民の移動手段の確保に努めます	5,520人	5,600人	4,893	4,649	4,520			デマンドバスの休日運行を実施。	未達成	H30.10.1より秋山地区もデマンド交通を実施。	(住民福祉課)
高齢化の進展に伴う「買物弱者」の対策に努めます	-	2件	-	-	-			H29年度に対象者へアンケート調査を実施。	実績なし	アンケート結果に基づき方法を検討中。	(特命対策課)

施策(3) 地域文化・集落支援対策

集落機能を再生し、集落の賑わい創出に努めます	4件	6件	4	4	4			ふるさと復興支援金、集落支援金、コミュニティ助成事業など継続。	未達成	集落機能を維持していくための、集落支援金等の内容について検討していく。	(総務課)
「村民全員が栄村博士である」という村を目指します	13回	17回	9	14	10			ワラ工のつぐら講座を「つぐら振興会」で実施するようになった。みみだんご・あんぼなどを伝承する講座を歴史文化館で随時開催。	未達成	みみだんごなど村の文化を伝承する講座を歴史文化館を拠点に随時開催。また、村の歴史や自然を学ぶ講座を村史編纂事業で開催する。	(教育委員会事務局)



平成30年度 地方創生推進交付金事業(補助率50%)

事業名	事業区分	連携自治体 (○代表自治体)	事業概要	実施 期間	事業費(千円)					役割	H30対象事業	累計 案件数	栄村					
					28	29	30	31	32				計	27	28	29	30	31
信越自然園におけるDMO構築推進事業	広域連携 構成員	○飯山市、中野市、妙高市、山ノ内町、野沢温泉村、栄村、信濃町、飯綱町、木島平村	①マーケティング調査実施 ②広域観光旅行商品造成 ③パンフレット、マップ等PRツール作成(多言語版含む) ④サイクリング環境整備(サイクルステーション設置) ⑤多言語通訳クラウドサービス導入	29-31		15,200	14,100	14,100	43,400	信越自然園エリアが、世界遺産の潜在型観光地となるべく、「信越9市町村広域観光連携会議」(地域連携DMOである「一社」信州いいやま観光局)が一体、連携をし事業を実施	258			94	82	82	観光消費額466億円 (H31.3) 延泊者数597万人 飯山駅観光案内所(ワンストップ)窓口利用者数69,470人 (H32.3)	
苗場山麓ジオパーク推進事業	広域連携 構成員	○津南町、栄村	・苗場山麓ジオパーク拠点整備 観光案内拠点の強化 展覧台、解説看板等の設置 ・苗場山麓ジオパーク推進事業 ポスター・パンフレットの作成、商品開発、地域資源調査、ジオガイド養成、専門誌の発行	28-30	3,000	13,000	12,400	28,400	高町村で連携しジオサイトの整備及びジオパーク事業の推進	・印刷製本費 1,071千円 ・調査費 272千円 ・研究助成 170千円 ・解説書版設置 476千円 ・通信郵送費 34千円 ・委託料 323千円 ・雑費 1,564千円 ・複写機使用料 68千円 ・部会活動費 238千円	4,828	510	2,210	2,108			観光客入込数585千人 (H31.3) 宿泊観光客数96千人 (H31.3)	